



第1回研究授業を実施しました 6年国語：「インターネットの投稿」を読み比べよう

前途洋々

6年生で、本年度初めての研究授業を行いました。インターネットの投稿記事（本時ではスポーツについての投稿）を読み比べ、意見をより説得力のあるものにするために、どのような工夫をしているか読み取り、説明する授業でした。普段の生活においても、経験を述べたりデータを活用したりすることなどによって、自分の意見をより明確に示すことができますが、生活に直結した有意義な学習です（すべての学習がそうですが・・・）。6年生は、これまでの学習を振り返り、自分の意見をまとめ、積極的に発表することができていました。多くの児童の生き生きとした姿を見ることができてとてもうれしかった1時間でした。（写真上段は授業を受ける6年生の様子、下段は授業研究会の様子です）（身に付けさせたい資質・能力：「考えを深め、表現することができる力」に関連するところです）



「第1回みなみっ子集会」で学んだことは？

7月1日（木）の3・4時間目、リモートではありますが、第1回人権集会「みなみっ子集会」を実施しました。それぞれの学年が、人権月間を通して考えたことや学んだことを発表していきました。今回は「まわりを見て、おかしいことに気づき、声をかけよう」ということについて、各学級で取り組んだことを共有しました。この集会の主な目的は次のとおりです。

- 全校児童で集い、互いの思いや考えを聞き合うことで、互いを知る機会とする。
 - 自分たちの考えを伝える場として、相手に分かるように伝えることを大切にする。
 - 聞き手も発表している人が伝えたいことをしっかり考えながら聞くことを大切にする。
 - これまで学習してきたことと自分やクラスのことを重ねて考え、これからどんなことを頑張っていきたいか発表し、自分たちのくらしをよりよくしていこうとする気持ちを持つ。
- すべての発表を紹介したいのですが、5年生の発表を一部抜粋してご紹介します。



今、5年生は行動を変えようとしています。

嫌な言葉を言われても「なんでそんなことを言うの？」と聞けるようになりました。

自分が今したことはどうだったのかを振り返っていきます。

話そうと思って言ったときに、しっかり聞こうとしてくれたので、これからも話そうと思います。

相手に言う前に、言ってもいいかなと考えて言葉づかいに気を付けています。

すぐにあきらめずに、行動する努力をしたいと思っています。

仲がいいから信じるのではなく、正しいかどうかを考えたいです。



司会・進行をしてくれた
人権委員会の子供
たちです

最後に、私から、この集会は「安心して過ごせる教室・学校をみんなで協力してつくる」ために開いたということ、また、教室・学校は、誰か一部の人ではなく、全員（一人一人）にとって安心できる場所であってほしいことを話しました。さらに、人間は「よく分からないこと、知らないこと」を恐れ、不安を感じ、ときにそれが差別につながる、まずは目の前のお友だちのことをしっかり知ると同時に自分のことを伝える力を付けてほしいことも伝えました。子供たちは、担任の先生の指導を受け、堂々と発表することができました。今後、もっと「あたたかく」「気持ちが落ち着く」場としての教室・学校づくりを進めたいとあらためて感じた一日でした。